

東吾妻町 議会だより

第65号
みんなの議会
2022.5.1



春らんまん、笑顔満開、
顔の見える広報紙を目指して
【特集】
各議員の注目事業予算……4

今号の内容

3月定例会で決まったこと	…… 2
5議員が町政を問う 一般質問	……10
各委員会からの活動報告	……16
まちの声	……18

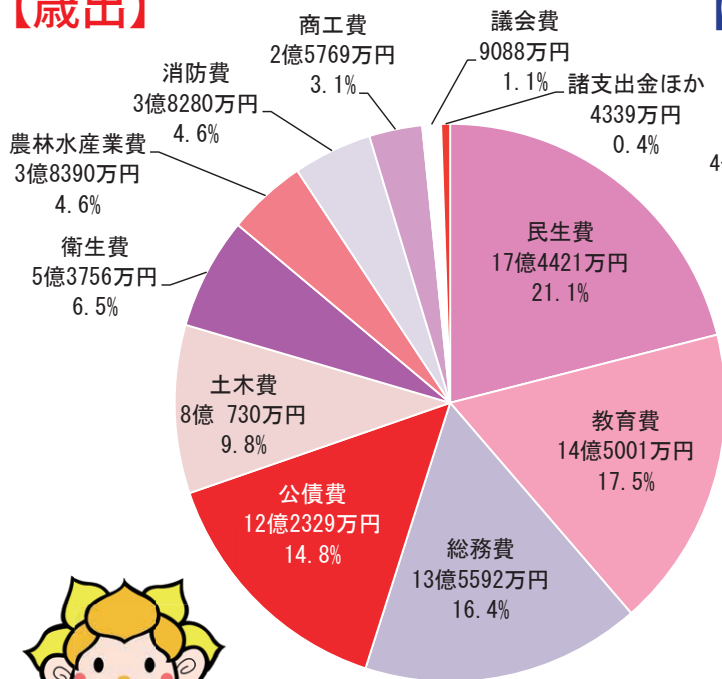
岩井親水公園 (表紙の説明は17ページへ)

カーボンニュートラル実現に向け、

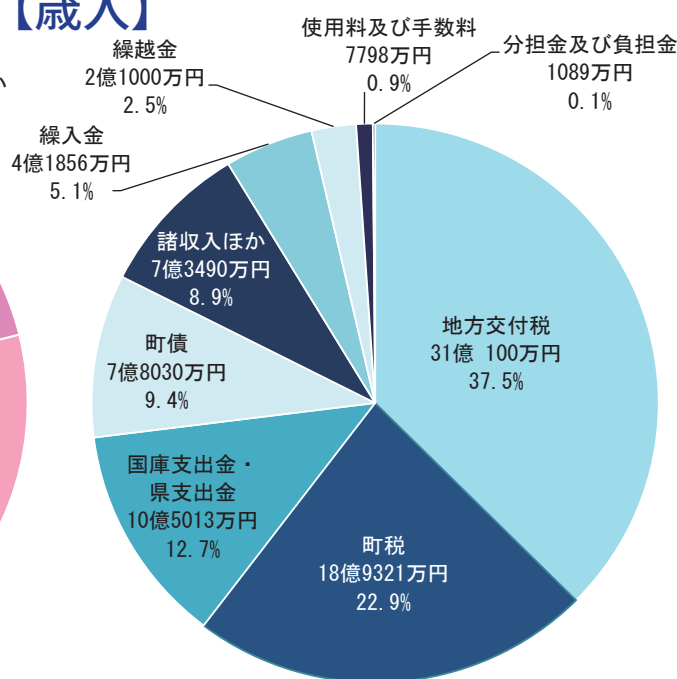
再生可能エネルギー設備を導入

令和4年度一般会計当初予算が可決されました

【歳出】



【歳入】



歳入歳出合計 82億7700万円

前年度より
3.3%増

令和4年度当初予算 算注目新規事業

◎自立分散型エネルギー導入事業
2億9183万円

学校施設の防災拠点としての機能を向上させるとともに、学校照明施設のLED化を推進する事業です。

令和4年度は、東小学校と岩島小学校、東吾妻中学校を対象とし、再生可能エネルギー設備導入を進めていく予定です。

質疑

食による町おこし、地の知恵を活かして

議員 食によるまちおこし事業「マイロククタウン東吾妻事業業務委託料」は、デビルズタンバーガー関連の委託だが、こういう事業は本当に地元を知り、愛している方に知恵を出してもらいたい。この委託業者は何社で、事業を委託されて何年経過するのか。
企画課長 委託先は1社で、今年で5年目にな

令和4年第1回定例会が、3月4日から17日までの14日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。
会期中、町長から提案された令和4年度の当初予算や条例の改正、令和3年度の補正予算などの議案が審議されました（議案などの審議結果については、9ページの表をご覧ください）。
なお、町政一般質問には5人の議員が登壇して町政をただしました（10から14ページをご覧ください）。

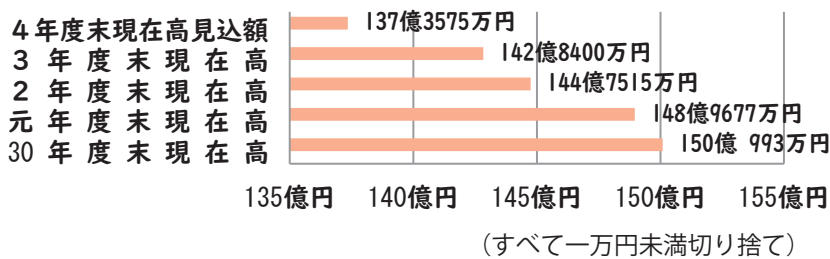
▼令和4年度会計別予算額（歳入・歳出）

会計名		令和4年度	令和3年度	対前年比	
一般会計					
計		82億7700万円	80億1000万円	3.3%	
国民健康保険特別会計（事業勘定）		16億797万円	17億5521万円	▲8.4%	
（施設勘定）		7091万円	7666万円	▲7.5%	
後期高齢者医療特別会計		2億2938万円	2億1718万円	5.6%	
介護保険特別会計		18億7743万円	18億3960万円	2.1%	
地域開発事業特別会計		4161万円	1億5500万円	▲73.2%	
下水道事業特別会計		5億5780万円	5億3747万円	3.8%	
簡易水道特別会計		1億3664万円	1億640万円	28.4%	
公営企業会計名					
		収 入		支 出	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
水道事業会計	収益的	2億349万円	1億9743万円	2億335万円	1億9396万円
	資本的	1億4240万円	1億4840万円	2億3737万円	2億5716万円

▼町債残高一覧表

区分	令和3年度末現在高	令和4年度末見込額
一般会計	112億7137万円	108億8212万円
国保特別会計（施設勘定）	377万円	112万円
地域開発事業特別会計	3850万円	3850万円
下水道事業特別会計	23億3240万円	22億3061万円
簡易水道特別会計	1億6977万円	2億109万円
水道事業会計	4億6816万円	3億8229万円
合計	142億8400万円	137億3575万円

▼町債残高の推移



令和4年度 予算編成方針

令和4年度の一般会計当初予算は、総額82億7700万円、対前年度比で3.3%、金額にして2億



6700万円の増額となりました。限られた財源の中で、既存事業の見直しを行い、新規事業も緊急性や必要性、費用対効果を厳しく精査した上で、経費節減と合理化が図れるよう予算編成を行いました。

また、2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、公共施設に再生可能エネルギー設備を導入し、**地域レジリエンス**を強化するための事業費など盛り込んでいます。

* **地域レジリエンス**とは……避難所として位置づけられた施設に、再生可能エネルギー設備を導入し、災害時でもエネルギー供給を可能にする取り組み。

次のページは、特集「各議員の注目事業予算」

議員 やがて事業の終了の時期もくるかと思つ。食を使って町をおこすこととは大切なことで、どんなやってほしいが、次のステップに進む時は地元を巻き込むような手法で



ラッピングした高速バス

町の観光宣伝なども含めて行っている。主な事業は、デビルズタンバーガー関係の事業、岩カード事業、えびばで忍者計画事業、その他に、現在「ロックな人」で、町内のこだわりのある人に取材をしてホームページで紹介している。また、年に1回情報誌に掲載したり、四万温泉から東京駅まで走る高速バスを2台ラッピングしたりして、

原則是に目的別に各課での予算立てとなる。

企画課長 地域おこし協力隊事業は、それぞれの担当課で、目的に応じた募集をしている。国からの指導もあり、予算体系は目的に応じた予算組みとなる。そういうやり方もあるかもしれないが、

地域おこし協力隊の効率的運用を やってほしい。この事業は、**企画課長** この事業は、おらがまちづくりプロジェクト委員会検討企画立案している。地元公募の委員や観光協会などの団体も関わり、基本は地元の意見を取り入れて事業を展開していきたい。

各議員の注目事業予算！

厳しい目で鋭くチェック！
意見いろいろ虹色の提言！！

安心安全な町づくりのために。町では計画的に毎年、消防団の機材設備の更新をしています。令和4年度は第4分団第2部（須賀尾）に消防ポンプ積載車が配備されます。

2000万円

◀消防ポンプ自動車購入事業

須崎 幸一
議員



早急な住宅対策を。若者や移住者が気軽に住めるよう、空き家の活用と町営住宅の改善をすべき。上信自動車道が完成すれば、通勤圏内が広がるため、遠距離通勤も可能になる。

498万円

◀定住促進事業

渡 一美
議員



この新システムを活用することで課を超えた横断的な政策立案が可能になります。課題としてはシステムのコンセプトを理解して活用できる職員の人材育成で、今後とも注視していきます。

775万円

◀統合型GIS構築事業

井上日出来
議員



本年度の新規事業として収入保険制度補助金が計上された。農業振興対策として農業所得、経営安定化のために必要な事業である。遊休農地、耕作放棄地の解消対策としても期待したい。

651万円

◀農業振興対策事業

高橋 弘
議員



老朽化していた旧岩島第一小学校の解体工事が行われる。思い出深い学び舎の解体は寂しい方もいると思うが、景観もよくないし危険でもある。今後の跡地利用にも期待していきたい。

6858万円

◀旧岩島第一小学校解体工事（除却事業）

茂木 健司
議員



コロナ禍で社会の閉塞感を打破するには若者の力が必要。事業は2年前に開始されまだ緒に就いたばかりだが、長期的な視点で若者世代のチャレンジ精神を育み、支援継続していくことが重要と思う。

350万円

◀若者起業支援補助金事業

高橋 徳樹
議員



道陸神トンネルのイルミネーション工事（100万円）がどのくらい観光客にインパクトを与えるか楽しみのひとつ。今後は文化庁との話し合いを進め、渓谷の樹木の整備の推進を。

2659万円

◀吾妻渓谷活性化対策事業

里見 武男
議員



町民の皆さんに伝えたい



小林 光一
議員

歳入予算
2000万円

▶ふるさと応援寄付金

人口減少により自主財源が年々減少する中、ふるさと納税の寄付金を高めに設定し、その確保のために一丸となって積極的に取り組み、将来のある子どもたちの支援に投資すべきである。



重野 能之
議員

160万円

▷地域振興事業補助金（地域活性化事業）

環境美化や地域振興に自発的に取り組む住民団体への補助金交付事業。少子高齢化等によって活動が衰退する恐れがある。地域の伝統的な各行事にも影響が出ている。さらなる手厚い補助が必要だ。



竹淵 博行
議員

1485万円

▶交通結節点基本構想策定（路線バス運行対策事業）

「吾妻郡東部の中心となるバスターミナル」植栗・中之条インターチェンジにパーク＆ライド方式による高速バス及び路線バス等の乗り入れを行うターミナル基本構想を策定するもので、今後の進展に期待！



佐藤 聡一
議員

歳入予算
計 4687万円

▷森林環境譲与税
+ぐんま緑の県民税

令和元年より始まった森林環境譲与税は令和4年度までで累計8854万円が当町に配分になっている。これとぐんま緑の県民税も有効に利用しながらなるべく早く当町の森林整備を進めるべきである。



根津 光儀
議員

1500万円

▶原町日赤医師確保対策補助金

2年前から実施されているこの事業により、原町日赤病院に、救急医1名・内科医1名・計2名の医師が増員されました。新型コロナウイルスの危機を乗り切るため、力強い政策です。



樹下 啓示
議員

880万円

▷はばたけ「ぐんまの担い手」支援事業の増額を！

町の基幹産業である農業について、農地のさらなる集約化を図り効率の良い大規模化により食糧自給率の向上を。本町にある大規模畜産事業の継続のために飼料の国内自給率を高める必要あり。



青柳はるみ
議員

464万円

▶外国語教育コーディネーター事業

子どもだけでなく、大人も気軽に外国語に親しめるこの新規事業に期待する。海外からのお客さまや、工場や農場の外国籍の研修生とのコミュニケーションに今後ますます外国語が必要になる。

アガッタンの料金を改定

東吾妻町自転車型トロッコ貸出し条例の一部を改正する条例
吾妻峡レールバイクアガッタンの料金体系を見直し、下の表
のように変わりました。町民料金は、値引きになっています。

新緑の八ッ場へGoー
アガッタンで

自転車型トロッコ使用料

種類	区分1	区分2	使用料	備考
渓谷コース	3人乗り1台	片道	3,000円	町民料金は、 1,000円値引き!
		往復	5,000円	
	4人乗り1台	片道	3,500円	
		往復	6,000円	
田園コース	3人乗り1台	往復	1,000円	
	4人乗り1台	往復	1,500円	

本格始動のアガッタンに、今後の期待をこめて問う！

●1人乗りにも対応を

議員 2人の場合は、3人乗りのトロッコで対応できるが、1人で乗りたい方もいる。バランスの問題で難しいという話だが、水仙ちゃんのぬいぐるみを55キロくらいの重さにしてバランスを取るなどして、1人でも乗車体験ができるような対応もお願いしたい。

まちづくり推進課長 トロッコが左右の自転車で動力を与えているので、一方だけに動力がかかると、カーブのところで車輪が浮き、最悪の場合には脱輪の危険性もある。重りでバランスを取る方法は、今後テストをして可能であれば検討したい。

●写真撮影でサービス向上を

議員 運転しながら景色を楽しむことができるが、自ら乗っている姿の写真撮影ができない。景色のいい所で自動で写真を撮れば、サービス向上になるのでは。

まちづくり推進課長 写真撮影ができれば、アトラクションとしての価値が高まる。ハンドル部分にスマホのホルダーをつけて撮影する方法も試みたが、振動で落下する可能性もあり難しい。動体検知の自動シャッターも検討材料として、可能性を探っていきたい。

●メリハリのある料金体系に

議員 新緑や紅葉の時期は、非常に混み合う。季節でメリハリのある設定が必要だったのでは。

まちづくり推進課長 新緑や紅葉シーズンは景観もよく、ほぼ100%予約となる。収益性を考えた場合には大変有効と考えるので、全国の同様な観光アトラクションなどの料金設定を参考にしながら、検討したい。

●割引で、町民の皆さんを営業マンに

議員 町民料金は値引きになっているが、もっと値段を下げて多くの人に乗車体験してもらい、営業マンとなってもらうことも大切だ。割引券を発行して、対外的にPRをしていただけるような努力が必要ではないか。

まちづくり推進課長 町民にさらに利用してもらうために割引クーポンの発行なども検討していきたい。

●宿泊施設との連携を

議員 先日草津のホテルから、アガッタンの評判が非常にいいということで、独自の割引券を作って、差額分をホテル側が持つという話があった。今後アガッタンを知ってもらうためにも、近隣の観光地と連携することで、利益につながると思うが。

まちづくり推進課長 観光客の多い草津町や町内の宿泊施設とも連携がとればアガッタンの宣伝にもなる。今後そういったことも考えながら進めていきたい。

●収益の上がる努力を

議員 収支についてはどう考えるか。観光誘客が目的ではあるが、できるだけ利益が上がるような努力をしてもらいたい。

まちづくり推進課長 条例改正後の新年度予算の収入は、500万円ほどの増が見込まれる。それでも550万円の赤字となる見込みだが、歳出予算には道陸神トンネル内のイルミネーション装飾工事やトロッコの追加購入費など、初期的投資部分400万円が含まれている。令和4年度は黒字にするのは難しいが、今後黒字に転化する可能性は十分あると考える。

その他条例関係

■東吾妻町国民健康保険
税条例の一部を改正する
条例

未就学児のいる世帯の
国保税の均等割額が令和
4年度課税より軽減され
ます。

■東吾妻町小口資金融資
促進条例の一部を改正す
る条例

既往債務の借款の借換
え申込期限を令和4年3
月31日から、令和5年3
月31日までに延長しまし
た。

■東吾妻町簡易郵便局郵
便切手等購入基金条例の
一部を改正する条例

■東吾妻町職員の育児休
業等に関する条例の一部
を改正する条例

令和3年度

一般会計補正予算

燃油価格高騰で園芸
農家に補助金など、
令和3年度一般会計
補正予算が可決

歳入歳出予算の総額に
それぞれ1億4334万
9000円を追加し、歳
入歳出予算の総額をそれ
ぞれ87億9012万60
00円としました。

主な追加予算

施設園芸燃油価格高騰緊
急対策事業補助金
560万円



ハウス栽培のイチゴ

補正予算一覧

会 計 名	補正額	予算総額
一 般 会 計	1億4334万円	87億9012万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	△2655万円	17億5174万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	△629万円	7088万円
後期高齢者医療特別会計	△806万円	2億955万円
介護保険特別会計	△424万円	18億7897万円
地域開発事業特別会計	△3260万円	1億4885万円
下水道事業特別会計	△1575万円	5億4066万円
簡易水道特別会計	△2182万円	8424万円

防犯事業工事請負費

70万円

住民基本台帳システム改
修業務委託

330万円

農村地域防災減災事業

800万円

広域林道開設事業

94万円

雇用調整助成金申請費補
助金

300万円

人事案件



■東吾妻町農業委員の任
命に同意

任期満了に伴い次期農
業委員の任命に同意しま
した。

任期は2025年3月

31日までの3年間です。

水野 喜徳さん(岩井)

佐藤 香澄さん(奥田)

中井 毅彦さん(本宿)

加邊 真哉さん(大柏木)

住谷 明正さん(原町)

高山 剛さん(原町)

高橋 久雄さん(三島)

桑原 正明さん(川戸)

角田勝祐紀さん(岡崎)

荒木 順一さん(植栗)

高橋 和弘さん(三島)

小林 秀一さん(箱島)

契約・その他

■工事請負契約の変更締
結

防災無線をアナログか
らデジタルへ移行する事
業で、各家庭内の戸別受
信機の整備を行うもの。
令和3年度で事業終了と
なりました。

●変更後の金額：2億65
万1000円(4244
万9000円の減)

●契約相手：パナソニッ
クスシステムソリューショ
ンズジャパン株式会社
首都圏部門 執行役員副
社長 奥村康彦(東京都)

■町道路線の廃止

■町道路線の認定

■群馬県市町村総合事務
組合の規約変更に関する
協議

■群馬県市町村公平委員
会を共同設置する地方公
共団体の数の増加及び規
約の変更

▼令和4年度に繰り越すことが決まった事業

事業名	金額
上信自動車道吾妻西バイパス光ケーブル等移設工事	220万円
定住促進事業住宅取得奨励補助金交付事業	1350万円
吾妻渓谷活性化対策事業	37万円
住民基本台帳システム改修業務委託事業	330万円
非課税世帯臨時特別給付金事業	1億7177万円
子ども・子育て支援事業	376万円
太陽光発電システム設置費補助金事業	93万円
農業振興対策事業	560万円
地域農業基盤確立農業構造改善事業	540万円
農村地域防災減災事業	800万円
東吾妻町住宅新築改修等補助金	298万円
東吾妻町小規模事業者持続化補助金	500万円
東吾妻町雇用調整助成金申請費補助金	300万円
観光管理費	700万円
町道 新井・横谷・松谷線改良事業	1000万円
町道 8054号線(箱島)改良事業	1330万円
大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査事業	3003万円
ケーブルテレビ設備維持管理事業	131万円

■ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める決議

ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める決議を議決し、内閣総理大臣に提出しました。

議員質疑
提出理由は、議員提出理由は。テレビ報道を

見るたびに、子どもが傷つき命も奪われて、そこにたたくみ泣き叫ぶ母親がいる。人々がつくり上げた町、建物が破壊され、自分の家にもいられずに国外に逃れている。そんな惨状を見るたびに、町民を代表する議会人としてロシアによるウクライナへの侵攻は、断じて容認することができないと

非難するものである。その意思を示したいと思いい提出をした。



議場に掲げた平和への思い

賛成討論

根津議員 平和を希求する東吾妻町議会というところで、私もこの立場で心から賛成したい。

東吾妻町議会は、ウクライナに対する人道支援のため、日本赤十字社の人道危機救援金に15万円を寄付しました。



表彰

地方自治の発展に貢献した功労者として、竹淵博行議員と佐藤聡一議員が群馬県町村議会議長会長から自治功労者表彰(議員10年表彰)を受け、第1回定例会初日(3月4日)に須崎議長から伝達が行われました。



竹淵博行議員



佐藤聡一議員

議案などの審議結果

第1回 定例会（令和4年3月4日～17日）

議案名	議員名														議決日				
	出席者数	賛成	反対	議決結果	1須崎幸一	2渡一美	3井上日出	4高橋弘	5茂木健司	6高橋徳樹	7里見武男	8小林光一	9重野能之	10竹淵博行		11佐藤聡一	12根津光儀	13樹下啓示	14青柳はるみ
東吾妻町農業委員の任命	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/4
東吾妻町簡易郵便局郵便切手等購入基金条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町自転車型トロッコ貸出し条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和4年度東吾妻町一般会計予算	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和4年度東吾妻町国民健康保険特別会計予算	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和4年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計予算	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和4年度東吾妻町介護保険特別会計予算	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和4年度東吾妻町地域開発事業特別会計予算	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和4年度東吾妻町下水道事業特別会計予算	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和4年度東吾妻町簡易水道特別会計予算	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和4年度東吾妻町水道事業会計予算	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和3年度東吾妻町一般会計補正予算（第5号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和3年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和3年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和3年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第2号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和3年度東吾妻町地域開発事業特別会計補正予算（第2号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和3年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第4号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和3年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算（第3号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
工事請負契約の変更締結	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
群馬県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
町道路線の廃止	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
町道路線の認定	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める決議	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 議長(1番)は採決に加わらないため「-」で表示

請願・陳情のしかた

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

東吾妻町議会議員の紹介があるものを請願といい、紹介のないものを陳情といいます。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

・受付締切日

定例会前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで）

・必要記載事項

請願（陳情）の表題、請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、署名（または記名押印）

なお、請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）、あて先（東吾妻町議会議長）

・提出先…議会事務局（議長宛）

・その他…邦文で記載してください。

5 議員が町政を問う

一般質問

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（6月中旬に掲載予定）をご覧ください。

Q 脱炭素社会の実現に向けての町の役割は

A 一人ひとりの意識や行動がカギであり、周知や呼びかけを重ねていく

今後のロードマップは

Q 脱炭素社会の実現に向けた町の姿勢は。

A 国の方針では2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロを打ち出しており、町でもその一翼を担っているものと認識している。

Q 今後の取り組みとそのロードマップは。

A 具体的なロードマップはないが、環境意識の改革、生活様式の転換、建築物に関する環境配慮、再生可能エネルギーの利用などを地道に積み上げることが重要である。

Q 脱炭素化を総合的に推進するために部署を新設すべきでは。

Q 現時点では、町民課を中心に関係課の連携を強化し、進めたい。

A 重要性を町民に認識してもらうためにも「ゼロカーボンシティ」を宣言すべきでは。

Q 早期に表明することが良いと考えるが、時期は検討したい。

A 次世代の水素社会について、町長の見解は。脱炭素社会づくりの成否のカギはクリーンな水素の活用とみている。町としてできることを探求していきたい。

Q 町公用車に電気自動車（EV）導入を

A 2030年度における当町の温室効果ガスの削減目標は。

A 当町の2020年度温室効果ガス排出量は4203トンで、2030年度には38%（2013年度比）削減することを目標に置いている。

Q 住宅用太陽光発電設備の設置を促進すべきでは。

A 引き続き環境への意識高揚を図るための方策として、現施策である太陽光発電システム設置費補助金交付事業を継続していく。

Q 脱炭素化を推進するために、町の公用車に電気自動車（EV）を率先して導入すべきでは。

A 災害時の移動蓄電池としても利用可能であるので、導入を検討したい。

Q EVの普及のためにも充電スタンドのさらなる設置や住宅用充電器の設置費用の補助をすべきでは。

A 充電スタンドについてはEV普及のためにも増やしていきたい。また、住宅用充電器の設置費用補助は要請などを考慮し、支援の必要性を含めて検討したい。

Q 充電スタンドについてはEV普及のためにも増やしていきたい。また、住宅用充電器の設置費用補助は要請などを考慮し、支援の必要性を含めて検討したい。

A 充電スタンドについてはEV普及のためにも増やしていきたい。また、住宅用充電器の設置費用補助は要請などを考慮し、支援の必要性を含めて検討したい。



こばやしこういち
小林光一議員



役場前のEV用充電器

Q 災害時のマイタイムライン（あらかじめ作成しておく個人個人の防災行動計画）を A 防災マップに盛り込むことを考えていく



あおやぎ 青柳はるみ議員

Q わが町は土石流警戒区域が248箇所が多い。災害時に防災無線だけを頼りにするのはなく、自助で地域別に避難の目安を示すことが大事。防災の備えを一人ひとりが自覚するためのマイタイムラインを作るきっかけを町から発してほしい。

A 住民一人ひとりの避難行動をあらかじめ作成することで自助の意識を高める効果がある。令和4年度には防災マップの更新を予定しているので、マイタイムラインも盛り込んでいくことも考える。

Q 「こんな時どうする表」を上水道の「漏水の時どうする」のコーナーは写真入りで手順を示しわかりやすい。全庁的に住民からの問い合わせの多い項目をまとめ、身近にあるスマホでも見られるようにすることで安心につながるのでは。

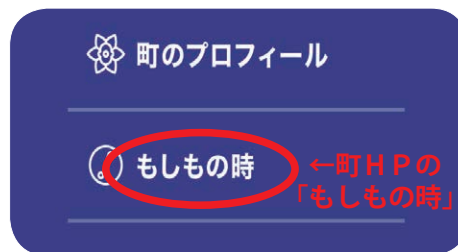
A 日常や災害の後などに自身の行動に迷うことも想定される。情報発信を行うとともに各課でまとめて町ホームページの「もしもの時」を充実させていく。

Q 交流人口というのも視野に入れて、町や町民が必要としている人材を、年に1回でも継続して訪れる「ふるさと町民」として迎え入れる施策を提案する。

A 提案のとおり「ふるさと町民」の皆さま

に、町のイベントなどの情報をSNSなどで紹介していただき、定期的な町を訪れてもらうことで、将来的には移住・定住につながる可能性があるので、関係人口の創出のために、今後検討したい。

Q ふるさと町民制度を A 関係人口の創出に努めていく



わかりやすい漏水の見つけ方（町HPより抜粋）

パイロットマークが回転していると漏水です

Q 第3期中澤町政の総括と令和4年度重点施策を問う

A 盤石な自治体の体制を築くため総合計画に著実に取り組む



井上日出来議員

令和元年台風19号以降の防災対策

Q 台風19号における防災の教訓は何であったか。

A 「災害は予想を上回る」と考え、地域の防災力向上、減災につながる行政対応が求められている。

Q その後の防災対策はどのようなに進んでいるか。

A ハード面、ソフト面とあるが、備蓄品の充実、消防団との連携強化、防災行政無線やメール配信での情報提供など状況に応じて対応してい

く。また災害に強いまちづくりの指針となる「国土強靱化計画」を策定し、令和4年度は防災マップの更新も実施する。

令和2年3月の原町学童施設移転問題で保護者との意見一致を見出せなかった件について

Q その後、町民と意見対立が生じないよう再発防止策は講じたか。

A 意見の一致を導きだせなかったのは反省すべき点と捉えている。令和2年度「あづま児童クラブ」移転に際しては関係各位に意見を伺い丁寧な対応に努めた。

中学生から提出された147件もの意見への取り組みは

Q 令和2年度もコロナの影響で中学生議会

の影響で中学生議会が中止となったが、中学3年生は町政に関する授業を行い、147件もの提案をしてくれた。彼らの提案の一つでも実現させることが政治への信頼回復と若者の政治離れを防ぐことにもつながる。私たち政治家としての責任と思うが町長の見解はいかがか。

A 中学生が成長し、社会に羽ばたいた後、

故郷に貢献できるように人材が育つよう、彼らの意見を頂戴しながらまちづくりに活かしていきたい。

令和4年度の重点施策

Q 新年度に町長が特に重要と考える事業は何か。

A 「さかうえ拠点バス

停」の基本設計や上信道開通に伴う植栗地区の「バスターミナル」と「パークアンドライド駐車場」

など交通結節点の基本構想を策定したい。またこれに伴い「東吾妻町地域公共交通計画」を推進する。観光分野では「箱島湧水観光トイレ」の設置を実施する。



現在のさかうえ拠点バス停

Q 今後町長が目指す町の姿は

A 「住民が誇りを持って暮らすまち」これこそが基本だと思っている

Q 3期目を振り返り、今改めて思うことは何か。

A これまでに様々な事業に取り組み、3期目で掲げたマニフェストの7割程度は実現したと思っているが、町をもっと発展させていくには、これからの4年間で重要だと考えている。

Q コロナ禍でもあり、地方の現状は厳しい。子どもから高齢者の方まで全ての地域住民の人々がより納得し喜べる町を作っていくかなければならない。そのために政治・行政はより重い責任を負って行動する覚悟が求められている。町長の基本的な考

えは。

A 新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻などを考えると、改めて政治・行政の責任の重さを実感させられる。そのような中で、私の基本的な考え方とし



町民の想いを聞いて受け止める町役場へ

と気軽に会話などできる「町長 Café」のようなスペースを設けることを提案するがどうか。

A 町長室には気軽にいつでもお立ち寄りいただきたいと思っている。今は町長室や副町長室が「町長 Café」だと考えているので、改めてのスペース確保は考えていない。

Q これから町長の新たな挑戦が始まる。町の明日を創るための挑戦だ。今後めざす町の姿、目指すべき方向についての考えは。

A 総合計画にもある「住民が誇りを持って暮らすまち」これこそが基本だと思っている。総合計画の前期は令和4年度に終了し、後期計画を令和4年度に作成する。まちづくり参加条例などに基づき、多くの皆さまの意見なども踏まえて策定していきたい。



しげのよしゆき
重野能之議員

て、新しい時代の「明るく住みやすい町づくり」を推進していくことだと思っている。それには、総合計画に沿って、コロナ禍を乗り越えて、着実に積極的な町づくりを目指すことが大事だと考える。「町長の力」。この力は行政組織を動かす力だけではない。住民の方々の不安や様々な想いを聴いて、対話をして「町民に安心と生きる勇気をもたらす」ことだと考える。例えば庁舎内に町長

Q 柔軟発想で地域資源発掘を

A 魅力ある町づくりに他自治体事例も参考にしていきたい



たかはしのりき
高橋徳樹議員

稼げる町づくり「地域のチャレンジ100」

Q 産業振興と雇用促進には地域資源の有効活用をはかる戦略が大切である。地域資源を活かしたビジネスについての現状認識は。

A 活用事例は箱島湧水事業である小水力発電や森林資源を活用したバイオマス発電事業等がある。また地域の特産物を使用したデビルズタンバールガーの販売を手掛ける飲食店も増えきておりこれらも新たなビジネスモデルである。

Q 当町でもハード面ソフト面で多種多様な資源がある。2017年内閣府から出された稼げる町づくり事例「地域のチャレンジ100」には各自治体から柔軟な発想による好事例がある。当町と同規模程度の市町村施策を参考にされてはどうか。

A 事例集には、空き店舗を活用した商店街の再開発をはじめ、古民家活用のアイデア、移住・定住支援策、回遊性のある観光振興策、ブランディングの手法等々、全国自治体の取組が多数紹介されており、今後、当町の魅力ある町づく



高島屋での東吾妻町の物産展

りのために参考にしていきたい。「ふるさとサポーター制度」導入を

Q 当町におけるシテイプロモーションの現況はどうか。今後、ツ

イッターやふるさと納税をしてくれた人を対象に「ふるさとサポーター制度」を導入されたらどうか。

A 平成29年度より公募委員をはじめ商工会、観光協会、役場職員など若年世代を中心に「おらがまちづくりプロジェクト」を組織し、町のブランド化に着手している。また「マイロックタウン東吾妻」をスローガンにロゴやポータルサイトを作成して町のPRに努めている。町を応援していただくサポーター制度は他の自治体の取組を参考にし関係人口創出につながる

よう検討していきたい。Q 当町マスコット「水仙ちゃん」のアフターコロナを見すえたPR戦略はあるか。

A 新たなグッズ制作やSNS動画配信、地元企業とのコラボ企画など新しいプロモーション方策も取り入れ活用していきたい。



水仙ちゃんグッズ

皆さんの声で町を元気に!

議会報告会が中止となりましたので、ご意見の募集をしています。

- *住所・お名前・年齢・連絡先を記載してください。
- *ご意見は議会だよりに掲載することがあります。(掲載は匿名可)
- *「わたしも一言!」のコーナーに出ただけの方も募集します。

議会だよりの
感想も待っています

郵 送：〒 377-0892 東吾妻町大字原町 1046
東吾妻町議会 議会広報特別委員会宛
FAX：0279-68-5300
メール：gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp



わたしも一言!



**車の流れが変わった今、
坂上地区を再び元気に!**

都所 幸恵さん
(大 戸)

大戸でスパイスカレーと手ごねパンのカフェを開いています。ここにお店を出そうと思ったのは、坂上地区の交通手段のない方に、なるべく家から出ていろんな人とお話をする機会をもってもらいたいと思ったからです。認知症予防にもなりますので、デマンドバスを利用してぜひ来ていただいて、地元の人たちが集ってお話しできたり、ほんの少し日常から離れてほっとできたりする場になればと思っています。

大柏木川原湯トンネルが開通して、坂上地区も徐々に交通量が増えてきました。通過するだけでなく、立ち寄れる場所がもっとあればいいと思います。仙人窟も時々県外からの観光客が来ていますが、駐車場がないのが難点です。駐車場やトイレの整備ができれば、もっとアピールできると思います。

若い人に移住してほしいけど、小児科で入院ができない、産科がないなどの問題もあります。町と議会が積極的に話し合って、町が元気になる政策をぜひお願いいたします。

わたしも一言!

**YouTube 経由→世界へ!
飛び立て! 東吾妻町!**



石村 隆徳さん
(三 島)



「吾妻渓谷を有する谷あいの街、東吾妻町。街の象徴は岩櫃山。歴史を振り返るとその昔、吾妻衆という忍者がいたそうな……」

街の魅力は沢山あれど『動画コンテンツ』となると、ちょっと寂しい我が街・東吾妻町。YouTube チャンネル『ろぐびと』は情報発信のお手伝いが出来ればと思い立ち上げました。観て楽しむもよし宣伝に使ってもよし。使い方は町の皆さんにお任せです。私はただただ東吾妻町を撮影し続けます。

町議会への要望は、『特化型イメージ戦略』です。魅力がたくさんある中で「山も溪流も忍者も人も食べ物も素晴らしい」と叫ぶより、散らばったストーリーをいかにして一つに集約するかが求められていると感じます。

東吾妻町は『マイロックタウン』というキャッチフレーズがありますがまだ十分に活かされていない気がします。行政・企業・住民が丸となりこの言葉を育てることができれば街のブランドとなり発展につながると感じています。

第 64 号 7 ページ、「No.16 安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情」が、本文中「No.17」となっていました。また、6 ページの表「坂上地区本宿」となっていますが、「大戸」の誤りです。訂正してお詫びします。

各委員会からの活動報告

総務建設常任委員会

旧役場跡地利活用について提案

3月8、9日定例会の委員会では、坂上地区、バス停整備事業や植栗地区バスターミナル構想に関して議論しました。

委員からは旧役場跡地利活用について、中央公民館・保健センター機能も併設した福祉エリアにすることなどの提案があ



委員会の様子（総務建設）

りました。町からは、一つの貴重な案と受け止め、今後も広く町民の声を聞き、よりよい施設にしたことの答弁がありました。自転車型トロッコ事業については、利用客増への取り組みを求める意見も出されました。

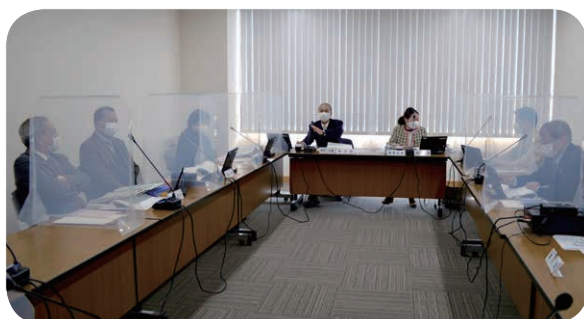
箱島団地の造成については、希望がないため中止し、今後はサウディング調査（対話型市場調査）を実施するとの報告がありました。

文教厚生常任委員会

いわびつ荘3回目接種完了

3月8、9日定例会中の委員会を開催しました。特別養護老人ホームいわびつ荘において、新型コロナウイルスワクチン3回目接種は、2月8日に利用者全員が済み、10日に職員への接種が完了したとの

ことでした。施設内での新型コロナウイルス感染症の罹患はないとのことでした。近年問題になっている引きこもりについては、昨年実態調査が行われ県内に974人。当町で20件が報告されました。



委員会の様子（文教厚生）

教育委員会関係では、各学校ともクロームブック・ICTの活用に力を入れていくとのことでした。町育英奨学金制度について、4年度入学者における申し込みはないとのこと、制度発足以来

初のことです。

社会教育関係では、人権標語・作文コンクールの報告があり、地域の皆さんの真摯で温かい心に感動しました。

行財政改革特別委員会

3月10日の委員会では執行部から総合戦略本部（行財政改革関係）の報告があり、

①公共施設等総合管理計画の改訂について前橋工科大学堤洋樹准教授から助言を受けたこと

②次期行財政改革推進プランは策定せず、総合計画後期基本計画に定める内容に則って進めることなどが報告されました。

また町公共施設等総合管理計画が今年3月に改訂され、
①ユニバーサルデザイン化方針

②維持管理と更新に係る

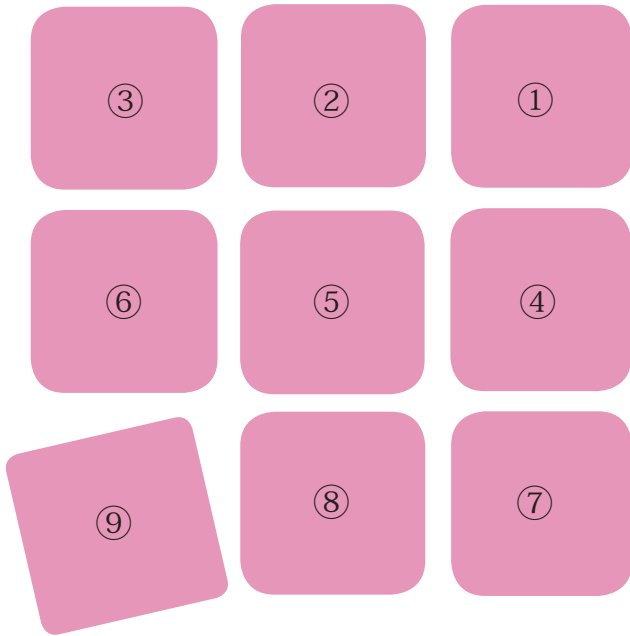
各委員会からの活動報告



老朽化した旧岩島第一小学校

経費
 ③ 地方公会計（固定資産台帳）の活用などが追加されたと説明を受けました。
 委員からは、
 ・ 使用されていない林道橋は除却すべき
 ・ 水道料金改定が見送られたことに関し、経費削減と段階的料金改定に取り組むべき
 ・ 旧岩島第一小学校校舎除却工事について跡地活用も含めた一元的なプラン提示を求めるなどの意見が出されました。

表紙の笑顔の写真に、ご応募ありがとうございました！



表紙に登場してくれた方のお名前を紹介します。

- ① 大塚彩珠ちゃん
- ② たかはしめいちゃん
のぐちけいくん
- ③ こやまそらくん
- ④ おおつかりくくん、えいたくん
- ⑤ 高橋杏ちゃん
- ⑥ 角田菜乃花ちゃん
清水此葉ちゃん
- ⑦ 小山さくらちゃん、稜生くん
- ⑧ 黒岩笑菜ちゃん
- ⑨ ゆきちゃん&ハナちゃん

素敵なお笑顔、ありがとうございます。

今回は、6月27日〆切
 爽やかな写真をお待ちしています！



詳しくは、東吾妻町
 議会ホームページをご覧ください。←

なお、人物が特定される写真は、その方の了解を得てから応募してください。

今後も不定期に笑顔の表紙の特集を組む予定です。コロナ禍で行事の写真を撮る機会が減っています。日常のスナップ写真も大歓迎です。

表紙の写真を募集しています！

「酪農経営の未来像」

富澤 裕敏さん (39歳 / 西榛名)



牛舎の前に立つ富澤さん

子どもの頃、大きな動物を飼う親の姿は格好良く見えたものです。しかし酪農家の親と旅行に行ったこともなく、次第に酪農業界は重労働なのに儲からない…という現状を目の当たりにし、家業を継ぐことに違和感を感じていきました。

その後、東京の大学で経済学部に進学。跡継ぎにはならないつもりでの選択でした。一旦、町を出てみることで故郷の良さを再認識しました。都会で暮らしてみても農業の大切さが良くわかったのが故郷の存在でした。

日本の酪農は過去60年で95%減少しています。うちの近所でも10軒あった酪農家が1軒になりました。実家に戻りしばらくして、畜産の大変な作業のIT化を考え始めたところ、タイミングよくベンチャー企業のスタートアップ段階で牧場主として参画でき、現在のスマート畜産システムの導入に至りました。

動物にセンサーを付けたり、IT化には馴染めない酪農家も多く居ます。しかし将来の酪農経

営を考えるとIT化は最適な手段です。

近年、当牧場では畜産系大学の日本人実習生の9割が女性になり、女性の酪農就農率が高くなっています。IT化は女性も酪農経営に取り組みやすくすることにもつながります。また作業全体をシステム化することで近隣にバイトのお手伝いを依頼することもできます。現在2名の外国人技能実習生を受け入れて一緒にがんばっています。

今後は法人化して日本人の就農希望者を雇い入れられるようにしていきたいです。町の人口を一人でも増やせるようにしたいと思います。

町内で優秀な生産者が多く居ます。町にはこのような人達と新規就農希望者を結ぶ支援策や酪農家が将来もこの町に残れるような施策を打ち出してほしいと願っています。

編集後記

東吾妻町にもようやく春が訪れ、暖かな日差しを浴びながら、水仙の花がきれいに咲き誇っています。新型コロナウイルスの影響で制限ある生活が続いていますが、一日も早く終息し、町が再び明るくにぎわう日が来ることを願っています。

議会だよりでは、議会活動や情報などを、皆さまにわかりやすく伝えられるよう努めてまいります。

よりよい町としていけるよう皆さまからのご意見や、表紙の写真なども募集していますので、ぜひお寄せください。

(茂木 健司)

議会広報特別委員会
委員長 樹下 啓示
副委員長 井上日出美
委員 渡 一弘
委員 高橋 健司
委員 茂木 徳樹
委員 高橋 弘
委員 青柳はるみ

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

コロナ対策のため、マスクの着用をお願いします。

次回の定例会は6月6日開会予定
6月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	本会議	常委	常委	特委	特委 全協	
12	13	14	15	16	17	18
		本会議	本会議			

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員
全員協議会